

貸借対照表

(令和4年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	289,182,354	流動負債	74,481,344
		固定負債	79,992,000
		負債合計	154,473,344
固定資産	324,294,668	(純資産の部)	
有形固定資産	250,690,846	資本金	50,000,000
無形固定資産	218,400	利益剰余金	409,003,678
投資その他固定資産	73,385,422	純資産合計	459,003,678
資産合計	613,477,022	負債・純資産合計	613,477,022

損益計算書

(自:令和3年9月1日～至:令和4年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額
売上高	943,128,209
売上原価	727,751,048
売上総利益	215,377,161
販売費及び一般管理費	219,951,516
営業利益	(4,574,355)
営業外収益	9,646,410
営業外費用	1,504,747
経常利益	3,567,308
特別利益	600,000
特別損失	722,500
税引前当期純利益	3,444,808
法人税、住民税及び事業税	338,500
当期純利益	3,106,308

株主資本等変動計算書

自 令和3年 9月 1日
至 令和4年 8月31日 (単位:円)

【株主資本】

【資本金】 前期末残高及び当期末残高 50,000,000

【利益剰余金】

【その他利益剰余金】

繰越利益剰余金	前期末残高	405,897,370
	当期変動額 当期純利益	3,106,308
	当期末残高	<u>409,003,678</u>
その他利益剰余金合計	前期末残高	405,897,370
	当期変動額	3,106,308
	当期末残高	<u>409,003,678</u>
利益剰余金合計		<u>405,897,370</u>
		3,106,308
		<u>409,003,678</u>
株主資本合計	前期末残高	455,897,370
	当期変動額	3,106,308
	当期末残高	<u>459,003,678</u>
純資産合計	前期末残高	455,897,370
	当期変動額	3,106,308
	当期末残高	<u>459,003,678</u>

個別注記表

自 令和3年 9月 1日
至 令和4年 8月31日

会社名 株式会社星山建設工業

○重要な会計方針

(1) 有価証券の評価方法

有価証券なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料については、最終仕入原価法により評価している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物は定額法により原価償却している。

建物付属設備、構築物、機械装置、車両運搬具及び器具備品については定率法により原価償却している。無形固定資産は定額法。

リース資産はリース期間を耐用年数とし残存価格を0とする定額法

(4) 繰延資産の減価償却の方法

繰延資産なし。

(5) 外貨建取引における為替予約の処理方法

外貨建取引なし。

(6) 引当金の計上基準

貸倒引当金・債権の貸倒損失に備えるために過去の貸倒実績率による繰越率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

(7) 収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成のための基本となる事項

(8) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税は、税抜方式により処理している。

(9) その他貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表作成のための基本となる重要な事項

特になし

○株主資本等変動計算書関係

(1) 事業年度末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 1000株

(2) 事業年度末日における自己株式の種類及び数

なし。

(3) 余剰金の配当

なし。

(4) 事業年度末日において発行している新株予約権の目的となる株式の種類及び数

なし。

○一株当たりの情報関係

(1) 一株当たりの純資産額

一株当たり 459,003円

(2) 一株当たりの当期純利益

一株当たり 3,106円

○その他

特になし

貸借対照表

(令和5年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	302,211,423	流動負債	124,447,046
		固定負債	19,980,000
		負債合計	144,427,046
固定資産	333,339,464	(純資産の部)	
有形固定資産	256,514,708	資本金	50,000,000
無形固定資産	218,400	利益剰余金	441,123,841
投資その他資産	76,606,356	純資産合計	491,123,841
資産合計	635,550,887	負債・純資産合計	635,550,887

損益計算書

(自:令和4年9月1日～至:令和5年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額
売上高	714,436,816
売上原価	552,922,226
売上総利益	161,514,590
販売費及び一般管理費	177,806,084
営業利益	(16,291,494)
営業外収益	97,887,921
営業外費用	1,681,119
経常利益	79,915,308
特別利益	722,500
特別損失	20,391,545
税引前当期純利益	48,306,263
法人税、住民税及び事業税	16,186,100
当期純利益	32,120,163

株主資本等変動計算書

自 令和4年 9月 1日
至 令和5年 8月31日 (単位:円)

【株主資本】

【資本金】 前期末残高及び当期末残高 50,000,000

【利益剰余金】
利益準備金 前期末残高及び当期末残高 409,003,678

【その他利益剰余金】

繰越利益剰余金 前期末残高
当期変動額 当期純利益
当期末残高

利益剰余金合計 前期末残高 409,003,678

当期変動額 32,120,163

当期末残高 441,123,841

株主資本合計 前期末残高 459,003,678

当期変動額 32,120,163

当期末残高 491,123,841

純資産合計 前期末残高 459,003,678

当期変動額 32,120,163

当期末残高 491,123,841

個別注記表

自 令和4年 9月 1日
至 令和5年 8月31日

会社名 株式会社星山建設工業

○重要な会計方針

(1) 有価証券の評価方法

有価証券なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料については、最終仕入原価法により評価している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物は定額法により原価償却している。

建物付属設備、構築物、機械装置、車両運搬具及び器具備品については定率法により原価償却している。無形固定資産は定額法。

リース資産はリース期間を耐用年数とし残存価格を0とする定額法

(4) 繰延資産の減価償却の方法

繰延資産なし。

(5) 外貨建取引における為替予約の処理方法

外貨建取引なし。

(6) 引当金の計上基準

貸倒引当金・債権の貸倒損失に備えるために過去の貸倒実績率による繰越率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

(7) 収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成のための基本となる事項

(8) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税は、税抜方式により処理している。

(9) その他貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表作成のための基本となる重要な事項

特になし

○株主資本等変動計算書関係

(1) 事業年度末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 1000株

(2) 事業年度末日における自己株式の種類及び数

なし。

(3) 余剰金の配当

なし。

(4) 事業年度末日において発行している新株予約権の目的となる株式の種類及び数

なし。

○一株当たりの情報関係

(1) 一株当たりの純資産額

一株当たり 491,123円

(2) 一株当たりの当期純利益

一株当たり 32,120円

○その他

特になし

貸借対照表

(令和6年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	203,708,155	流動負債	45,049,813
		固定負債	0
		負債合計	45,049,813
固定資産	337,159,014	(純資産の部)	
有形固定資産	237,856,866	資本金	50,000,000
無形固定資産	218,400	利益剰余金	445,817,356
投資その他資産	99,083,748	純資産合計	495,817,356
資産合計	540,867,169	負債・純資産合計	540,867,169

損益計算書

(自:令和5年9月1日～至:令和6年8月31日現在)

単位:円

科 目	金 額
売上高	615,471,865
売上原価	474,417,568
売上総利益	141,054,297
販売費及び一般管理費	195,188,597
営業利益	(54,134,300)
営業外収益	76,909,370
営業外費用	35,655
経常利益	22,739,415
特別利益	596,000
特別損失	10,380,000
税引前当期純利益	12,955,415
法人税、住民税及び事業税	8,261,900
当期純利益	4,693,515

株主資本等変動計算書

自 令和5年 9月 1日
至 令和6年 8月31日 (単位:円)

【株主資本】

【資本金】 前期末残高及び当期末残高 50,000,000

【利益剰余金】

利益準備金 前期末残高及び当期末残高 445,817,356

【その他利益剰余金】

繰越利益剰余金 前期末残高

当期変動額 当期純利益

当期末残高

利益剰余金合計 前期末残高 441,123,841

当期変動額 4,693,515

当期末残高 445,817,356

株主資本合計 前期末残高 491,123,841

当期変動額 4,693,515

当期末残高 495,817,356

純資産合計 前期末残高 491,123,841

当期変動額 4,693,515

当期末残高 495,817,356

個別注記表

自 令和5年 9月 1日
至 令和6年 8月31日

会社名 株式会社星山建設工業

○重要な会計方針

(1) 有価証券の評価方法

有価証券なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料については、最終仕入原価法により評価している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物は定額法により原価償却している。

建物付属設備、構築物、機械装置、車両運搬具及び器具備品については定率法により原価償却している。無形固定資産は定額法。

リース資産はリース期間を耐用年数とし残存価格を0とする定額法

(4) 繰延資産の減価償却の方法

繰延資産なし。

(5) 外貨建取引における為替予約の処理方法

外貨建取引なし。

(6) 引当金の計上基準

貸倒引当金・債権の貸倒損失に備えるために過去の貸倒実績率による繰越率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

(7) 収益及び費用の計上基準

その他計算書類の作成のための基本となる事項

(8) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税は、税抜方式により処理している。

(9) その他貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、注記表作成のための基本となる重要な事項

特になし

○株主資本等変動計算書関係

(1) 事業年度末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 1000株

(2) 事業年度末日における自己株式の種類及び数

なし。

(3) 余剰金の配当

なし。

(4) 事業年度末日において発行している新株予約権の目的となる株式の種類及び数

なし。

○一株当たりの情報関係

(1) 一株当たりの純資産額

一株当たり 495,817円

(2) 一株当たりの当期純利益

一株当たり 4,693円

○その他

特になし